

がんと生殖医療

公開セミナー

あす岡山

投薬や放射線治療によって生殖機能に影響を受ける若いがん患者が、子どもをつくる能力を温存できる方策について考える公開セミナーが22日午後7時、岡山市北区鹿田町の岡山大学鹿田キャンパスで開かれる。受講無料。

県内のがん、生殖医療の専門医や看護師らで2013年に組織した「がんと生殖医療ネットワークOKAYA M A」が主催。岡山大病院の医師らが、乳がん、精巣がんの患者が卵子、精子を凍結するまでの流れを実例を交えながら説明する。

問い合わせは事務局の岡山大学院保健学研究所（086-235-6533）。

2017年（平成29年）11月21日（火曜日） 山陽新聞